



# STINGER

取扱説明書

Ver 1.00



株式会社 サウンドハウス  
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3  
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222  
<http://www.soundhouse.co.jp> [shop@soundhouse.co.jp](mailto:shop@soundhouse.co.jp)

## はじめに

この度は American DJ STINGER をご購入頂き誠にありがとうございます。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂くために、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読みください。また本書が保証書となりますので大切に保管してください。

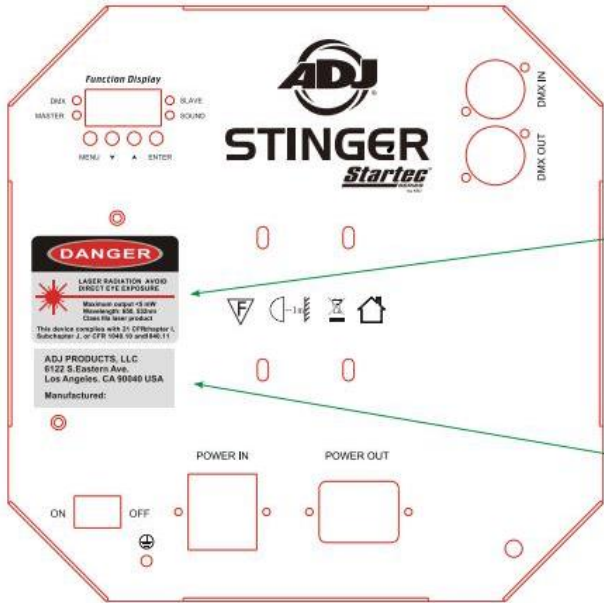
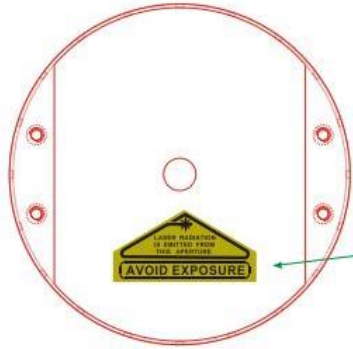
## 安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。本体や電源ケーブルに異常がある場合は、本製品の使用止め、販売店にご相談ください。
2. 本体は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 本体への接続が全て完了してから本体の電源を入れてください。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外して行ってください。
4. 電源、電圧が正しいことを確認してください。AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
5. ディマーパックからの電源供給は行わないでください。
6. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクタ部を持って行ってください。
7. 感電防止のため、使用中は部品に触れないでください。本体カバーを外した状態で本製品を使用しないでください。
8. 本製品は屋内専用です。本製品を屋外で使用した場合は保証対象外となります。
9. 通気性の良い場所に設置し、布等を被せないよう、また周囲に可燃物や爆発物、高温の物体を置かないようご注意ください。使用中は本体が熱を持ちますので、近くには何も置かないでください。
10. 本体に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようご注意ください。感電や火災の原因になります。
11. 長時間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外してください。
12. 本体を分解し、あけた状態で使用しないでください。想定以上の光や熱を放ち火傷や失明、火事を引き起こす危険性があります。
13. レーザーを使用するにあたり、下記の注意事項をよくお読みください。
  - a. 本製品より出力される光は、目の負傷などにつながる可能性があります。
  - b. レーザーの光は他の光源と異なり、網膜を傷つける危険性があります。
  - c. レーザーの熱さを感じなくても、実際には目に負担をかけ、傷つけている場合があります。
  - d. 長距離からのとても弱いレーザーでも目を傷つける可能性があります。
  - e. レーザーは細かく分かれたとしても、危険性は変わりません。
  - f. 目の損傷は瞬間的に起こるため、レーザーの直視は避けてください。
  - g. ダンスフロアでは、床より 3メートル以上の高さを照らすようにご使用ください。

- h. もし何か不具合があれば即座に使用を止めてください。例えば、レーザーが分散せず、全て集束して出力されている場合は、光が非常に強くなり危険ですので、ご使用を止めてください。
- i. レーザーを人や動物に向けないでください。
- j. レーザーを人がいる場所(バルコニーなど)を狙って使用しないでください。
- k. 鏡や窓(光沢のある金属)など、光を反射するものに向けて使用しないでください。
- l. 飛行機や空に向けないでください。
- m. 化学物質を含む製品でレンズをクリーニングしないでください。
- n. 本体の外側やレンズに何らかの損傷がある場合、または本体が開いた状態で使用しないでください。火傷や火事の原因となります。
- o. セーフティーケーブルで固定して使用してください。

故障が生じた場合は、お手数ですが販売店、もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。

メンテナンス以外の目的において、無断で本体カバーを開けた場合、保証の対象外となることがあります。



## 基本仕様

- DMX-512 対応(10DMX チャンネル)
- RGBWAP HEX LED
- グリーンレーザー、レッドレーザー搭載
- サウンドアクティブ対応 (マイク内蔵)
- オートランモード
- デジタルディスプレイ

## システムメニュー

NO	MENU	機能
1	Addr	DMX アドレス設定、DOWN/UP ボタンで 1-512 からアドレスを任意に選択
2	Sh_1	ショーモード 1(LED ショー)
	Sh_2	ショーモード 2(ストロボショー)
	Sh_3	ショーモード 3(レーザーショー)
	Sh_4	ショーモード 4(LED + レーザー)
	Sh_5	ショーモード 5(LED + ストロボ)
	Sh_6	ショーモード 6(レーザー + ストロボ)
	Sh_7	ショーモード 7(LED + ストロボ + レーザー)
3	Sens	サウンドアクティブの感度設定(0 低→99 高)
4	Soun	ON サウンドアクティブモード ON
		OFF サウンドアクティブモード OFF ※自動的にオートモードに切り替わります
5	Vers	ソフトウェアバージョンが表示されます

## システムメニュー操作

メニューは、一定時間操作を行わなかった場合、自動でロックされます。ロックを解除するには、MENU ボタンを 10 秒以上長押ししてください。

### Addr

#### DMX アドレスの設定

1. ディスプレイの表示が **Addr** となるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. DMX アドレスを表す数値が表示されます。UP/DOWN ボタンを押しして任意の DMX アドレスを選択し、ENTER ボタンを押します。

### Show

#### ショーモードの設定

1. ディスプレイの表示が **Show** となるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. 1-7 のショーモードを表す数値が表示されます。UP/DOWN ボタンを押しして任意のショーモードを選択し、ENTER ボタンを押します。

### SOU

#### サウンドアクティブの設定

1. ディスプレイの表示が **SOU** となるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. サウンドアクティブ機能を有効にする場合は **on**、解除する場合は **oFF** となるまで UP/DOWN ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。

## SEnS

### マイク感度の設定

1. ディスプレイの表示が **SEnS** となるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. UP/DOWN ボタンを押してマイク感度を 1～99 の間で選択し、ENTER ボタンを押します。数値が小さいほど感度が低く、大きいほど感度が高くなります。

## vEr

### 灯体のバージョン

1. ディスプレイの表示が **vEr** となるまで MENU ボタンを押し、ENTER ボタンを押します。
2. 灯体のバージョンが表示されます。メニュー画面に戻るには MENU ボタンを押します。

## オペレーションモード

STINGER では以下のモードが選択できます。

**DMX コントロールモード** : 別売の DMX コントローラーで制御を行います。

**サウンドアクティブモード** : 内蔵マイクで感知した音に反応して、本体のプログラムが動作します。

**ショーモード** : すでにプログラムされたショーモードを任意に選択し動作します。

**マスター/スレーブモード** : 接続した複数の STINGER を同期させます。

## 操作方法

### サウンドアクティブモード

内蔵マイクで感知した音に反応して、本体の内蔵プログラムが動作します。サウンドアクティブモードで使用するには、前述の「サウンドアクティブの設定」に従って、サウンドアクティブ機能を有効にしてください。サウンドアクティブモードを無効にするとオートモードで動作します。

### マスター/スレーブモード

最大 16 台の STINGER を連結し、同期させることができます。1 台の STINGER をマスターユニットとし、その他の STINGER は全てスレーブユニットに設定します。スレーブユニットはマスターユニットのプログラムに従って動作します。マスター/スレーブモードに設定すると STINGER はサウンドアクティブで動作します。STINGER 以外の機器を混在させて接続しないでください。

1. マスターとなるユニットを 1 台選びます。
2. 各ユニットの背面を 3 ピン XLR デジタルケーブルで直列に連結してください。マスターユニットが始点となるようにし、マスターユニットの DMX 出力端子に 3 ピン XLR デジタルケーブルのオスを接続します。
3. マスターユニット以外のユニットをスレーブに設定します。**Addr** を選択し、**001** に設定してください。
4. 設定が完了すると、マスターユニットに合わせてスレーブユニットが動作します。

### ショーモード

1 台または、複数の灯体を連結したとき本体内蔵のプログラムで動作します。ショーモードで使用する際は、前述の「ショーモードの設定」に従って操作してください。



## DMX コントロールモード

STINGER を外部 DMX コントローラーで制御します。

1. STINGER と DMX コントローラーをデジタル XLR ケーブルで接続します。STINGER の DMX 入出力端子は 3 ピン XLR です。
2. 前述の「DMX アドレスの設定」に従って、DMX アドレスを設定してください。
3. DMX 表、及び DMX コントローラーのマニュアルを参照して制御を行ってください。

### - DMX 表 -

チャンネル	DMX 値	動作
1	000 - 009	<u>オートラン/サウンドアクティブ/ブラックアウト</u> ブラックアウト
	010 - 039	6 カラーLED オートラン
	040 - 069	ホワイト LED オートラン
	070 - 099	レーザーオートラン
	100 - 129	オートランミックス
	130 - 159	6 カラーLED + ストロボ
	160 - 189	レーザー + ストロボ
	190 - 219	LED + レーザー + ストロボ
	220 - 255	DMX モード
2	000 - 009	<u>RGBWAP</u> ブラックアウト
	010 - 198	カラーマクロ
	199 - 225	カラーチェース 1
	226 - 255	カラーチェース 2
3	000 - 255	<u>オートラン</u> オートランスピード 遅 → 速
4	000 - 009	<u>LED ストロボ</u> ストロボオフ
	010 - 244	LED ストロボ 遅 → 速
	245 - 255	サウンドアクティブストロボ
5	000 - 009	<u>ホワイト LED</u> ブラックアウト
	010 - 135	ホワイト LED 固定出力
	136 - 255	ホワイト LED チェース
6	000 - 127	<u>ホワイト LED ストロボ</u> チェース 遅 → 速 (ストロボなしのとき)
	128 - 255	チェース 遅 → 速 (ストロボありのとき)
7	000 - 009	<u>レーザー</u> ブラックアウト
	010 - 049	赤レーザー
	050 - 089	緑レーザー
	090 - 129	赤+緑レーザー
	130 - 169	赤+緑レーザーフリッカー
	170 - 209	緑+赤レーザーフリッカー
	210 - 249	赤+緑レーザー(同期)

	250 - 255	赤+緑レーザー(交互)
8	000 - 009 010 - 244 245 - 255	<u>レーザーstroボ</u> stroボなし stroボ 遅 → 速 サウンドアクティブstroボ
9	000 - 008 009 - 127 128 - 255	<u>LED 回転</u> 回転なし 時計回り 遅 → 速 反時計回り 遅 → 速
10	000 - 127 128 - 255	<u>レーザー回転</u> レーザーパターン パターンチェース 遅 → 速

## DMX-512 について

### DMX-512

DMX-512 とは照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行うための世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の IN、OUT 端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

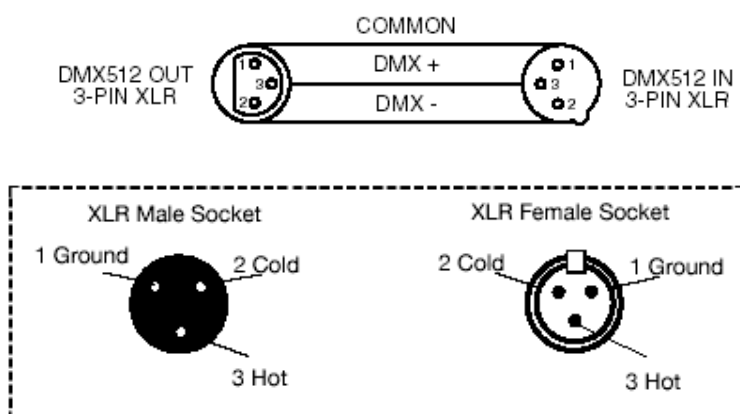
### DMXリンク

DMXデータの正確な送受信を行うため、ユニット間をつなぐケーブルはできる限り短いものをお使いください。また、ユニットが接続された順番とDMXのアドレス指定は関係しません。ユニットごとに任意のアドレスを設定することが可能です。

### DMX ケーブル

STINGER は 10 チャンネル分の DMX 信号を使用するユニットです。DMX アドレスは本体の裏面で設定してください。DMX 機器との接続は 3 ピン XLR 仕様のデジタルケーブルを使用して直列に行います。

DMX ケーブルを作る際は、以下の図を参照してください。

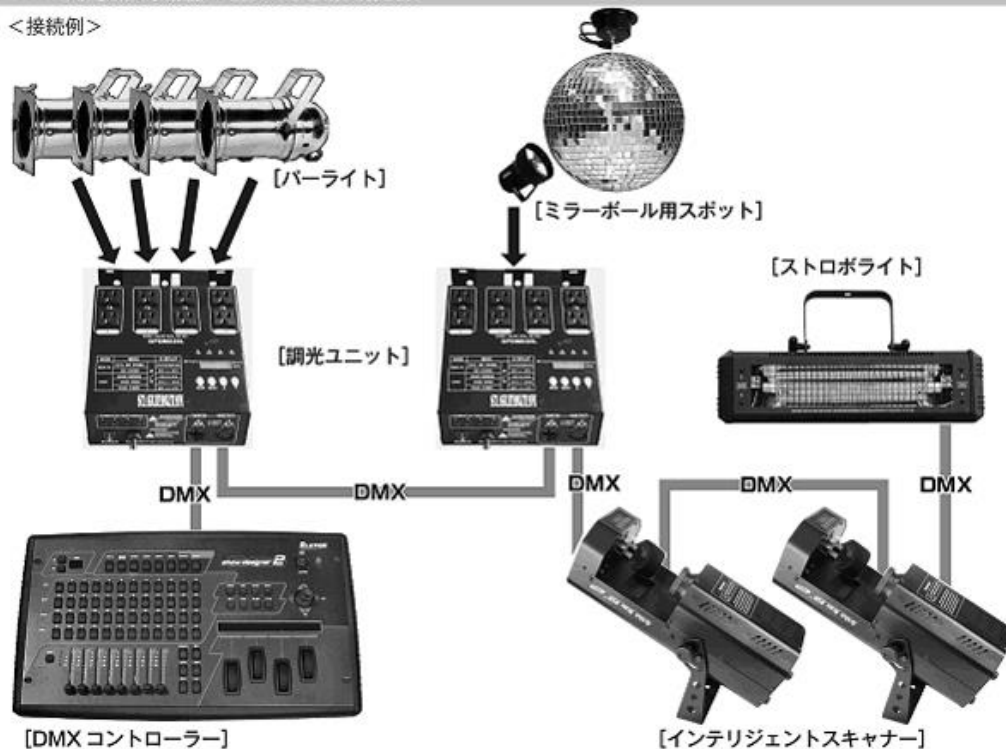


### 5 ピン XLR 仕様の DMX コネクタ

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクタの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクタを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクタを STINGER に接続する際は変換アダプターをお使いください。

## DMX対応照明機器の基本的な接続方法

<接続例>





- ・DMX 対応の照明機器は、上図の様に配線を行います。配線には DMX ケーブルを使用してください。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。
- ・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっています。なるべく距離が長くない様に配線してください。※
- ・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト等の明るさを調整することが可能です。
- ・インテリジェントスキャナーやストロボ等の電源は通常のコンセントから取ってください。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取ってください。

※ー長距離の配線についてー

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用してください。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器(上図の場合ストロボライト)の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照してください。

### ターミネーターの作成方法

	<p>ターミネーターは、HOSA DMT-414をお薦め致します。</p>
	<p>自作される場合はオスのXLRコネクターを使用し、120Ω 1/4Wの抵抗を、図の様に2番と3番ピンに接続しショートさせて下さい。</p>

## ヒューズ交換方法

1. 電源ケーブルを抜いてください。
2. 電源ケーブル差込口付近にあるヒューズホルダーをマイナスドライバーなどで回して取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを本体に取り付けます。

## メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。＜ ＞内は対応期間の目安となります。

※1 メンテナンスを行う際は必ず電源ケーブルを抜いてから行ってください。

※2 ガラスクリーナーやアルコール等でのクリーニング後は、完全に乾かしてからご使用ください。

### ■ 外側のレンズ <一週間に一度>

レンズが汚れると、光が内部に乱反射し熱がこもりやすくなります。

→ガラスクリーナーやアルコールなどを使用し、めがね拭き等の柔らかい布で汚れを拭き取った後、から拭きを行ってください。

### ■ 信号ケーブル、電源ケーブル、アダプター差込口 <一ヶ月に一度>

差込口部分に埃や汚れがつきますと、ショートし、灯体が正常に作動しない恐れがあります。

→エアードスターやブラシで埃を除去してください。差込口にぐらつき等がないかご確認ください。

### ■ ネジ <三ヶ月に一度>

各部位のパーツが正しく固定されていないと、パーツ等が落下する恐れがあります。

→各パーツが正しく固定されているか、ネジの山がつぶれていないかご確認ください。

## 故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、まず下記をご確認ください。

下記の方法でも症状が改善されない、またその他不具合が確認された場合は、販売店もしくは正規代理店までお問い合わせください。

症状	確認事項
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"><li>正しい電源・電圧に接続されているか</li><li>電源ケーブルが損傷していないか</li><li>ヒューズが切れていないか</li></ul>
サウンドアクティブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>外部音が高音や小さい音でないか</li><li>マイク感度が低く設定されていないか</li></ul>
DMX で動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>接続に問題がないか</li><li>正常な DMX ケーブルを使用しているか</li><li>DMX アドレスが正しく設定されているか</li></ul>
マスター/スレーブモードで動作しない	<ul style="list-style-type: none"><li>接続された機器の内 1 台のみがマスターに設定されているか</li></ul>

## 製品仕様

LED	5W RGBAWP HEX LED
レーザー	4.9mW 赤、緑レーザーダイオード
DMX チャンネル	10 チャンネル
DMX 入出力端子	3 ピン XLR
消費電力	70W
ヒューズ	2A
使用電圧	100V、50/60Hz
寸法	30.4(D) × 23.05(W) × 24.8(H) cm
重量	5kg

※製品の仕様は改良のため、予告無く変更する場合がございます。



## 保証書

ご使用中に万一故障した場合、本保証書に記載された保証規定により無償修理申し上げます。

### お買い上げ日より1年間有効

#### ■保証規定

保証期間内において、取扱説明書・本体ラベルなどの注意書きに基づき正常な使用方法で万一発生した故障については、無料で修理致します。保証期間内かどうかは、サウンドハウスからのご購入履歴により確認を行います。保証期間は通常ご購入日より1年ですが、商品によって異なる場合があります。但し、保証期間内でも、下記のいずれかに該当する場合は、本保証規定の対象外として、有償の修理と致します。

1. お取扱い方法が不適当（例：ボイスコイル焼けなどの故障等）なために生じた故障の場合
2. サウンドハウス及びサウンドハウス指定のメーカーや代理店が提供するサービス店以外で修理された場合
3. お客様自身が行った調整や修理作業が原因となる故障および損傷。もしくは、製品に対して何らかの改造が加えられた場合
4. 天災（火災、塩害、ガス害、地震、落雷、及び風水害等）による故障及び損傷の場合
5. 製品に何らかの理由で異物が付着、もしくは流入したことによる故障及び損傷とみなされた場合
6. 落下など、外部から衝撃を受けたことによる故障及び損傷とみなされた場合
7. 異常電圧や指定外仕様の電源を使用したことによる故障及び損傷とみなされた場合（例：発電機などの使用による異常電圧変動等）
8. 消耗部品（電池、電球、ヒューズ、真空管、ベルト、各種パーツ、ギター弦等）の交換が必要な場合
9. 通常のメンテナンスが必要とみなされた場合（例：スモークマシン等の目詰まり、内部清掃、ケーブル交換等）
10. その他、メーカーや代理店の判断により保証外とみなされた場合

#### ●運送費用

通常、修理品の発送や持込等に要する費用は全てお客様のご負担となります。但し、事前に確認のとれた初期不良ならびに保証範囲内での修理の場合は、弊社指定の運送会社に限り着払いにて受け付けます。その際、下記RA番号が必要となります。沖縄などの離島の場合、着払いでの受付は行っておりませんので、送料はお客様のご負担にて、どこの運送会社からでも結構ですので発送願います。

#### ●RA番号（返品承認番号）

サウンドハウス宛に商品を送る際は、いかなる場合でもサポート担当より通知されるRA番号を必要とします。また、初期不良または保証期間内の修理における着払いでの運送についても、RA番号が必要です。ご返送される場合は、必ずRA番号を送り状に明記してください。RA番号が無いものについては、着払いは一切お受けできませんのでご了承ください（お客様のご負担の場合はどの便でも結構です）。

#### ●注意事項

サウンドハウス保証は日本国内のみにおいて有効です。また、いかなる場合においても商品の仕様、及び故障から生じる周辺機器の損害、事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、又はその他の金銭的損失等の損害に関して、サウンドハウスは一切の責任を負いません。

加えて、交換や修理等には当初の予定よりも時間を要することがありますが、遅延に関連する損害についても一切の責任を負いません。また、原則として代替機は、ご用意しておりませんのであらかじめご了承ください。